
平成21年度全国大会 第64回年次学術講演会 実施要領

土木学会

実施期日——2009年9月2日(水)、3日(木)、4日(金)の3日間

実施場所——福岡大学七隈キャンパス

本実施要領を熟読して、申し込んでください

- ・講演概要集をCD-ROM化し登録参加手続きをした参加者全員に配布します。
- ・当日大会に参加される講演者および聴講者の全員から登録参加料を一律いただきます。
- ・講演申込みは、インターネット上からの電子受付のみです。
- ・平成17年度から、講演原稿の紙面受付を廃止しています。
- ・投稿原稿はPDFファイル形式で受付けます。
- ・聴講参加者は登録参加申込みが必要です。
- ・平成14年度より印刷版概要集を廃止しています。
- ・土木学会のCPD(継続教育)対象プログラムです。
- ・参加者は、CPD単位を取得できますので、「会員証磁気カード」をご持参ください。
- ・最新情報は、<http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/> をご覧ください。
- ・平成22年度北海道大会より講演概要集をDVD化します。

目次

日程一覧	3	3. 講演はせず聴講のみで参加される方	7
講演者・聴講者の資格と登録参加料	3	共通セッションテーマ	9
問合せ先一覧	3	部門別セッション名	10
1. 年次学術講演会の概要	4	講演申込要領(電子申込み)	12
2. 講演の申込みをされる方	5	講演原稿執筆要領	17

● 日程一覧

(年次は西暦2009年)

月	講演者	聴講のみの参加者
3	講演申込みの受付開始: 3月2日(月)12時よりインターネット上で受付開始 ※非会員の方は2月27日(金)までに入会手続きを完了して下さい。	
4	講演申込みの締切: 4月10日(金)17時 ※受付番号を必ず控えてください。 講演申込みの確認: 4月13日(月)11時～16日(木)17時 講演登録料の支払い 4月17日(金)までに郵便局あるいは銀行にて登録参加料を振込み。受付番号を記入し、支払回答書(6ページ)をFAXにて学会宛て送付	
6	ホームページ http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/ において年次学術講演会プログラム等の掲載(6月下旬)	
7	学会誌7月号において大会案内の掲載	
	講演者は改めて聴講申込の必要なし	事前登録参加申込受付期間:6月22日(月)～7月31日(金)
8	参加証・CD-ROM版講演概要集の送付:8月中旬	
9	全国大会開催:9月2日(水)、3日(木)、4日(金)	

● 講演者・聴講者の資格と登録参加料

(年次は西暦2009年)

資格	講演者 ^{※2}	聴講者 ^{※3}				
		事前登録(6月22日(月)～7月31日(金)迄 受付)		大会当日登録		
	土木学会個人会員・および海外の協定学協会会員に限る ^{※1}	会員(個人)	非会員	会員(個人)	非会員	
登録参加料	一般	10,000円	10,000円	20,000円 ^{※4}	12,000円 ^{※5}	20,000円 ^{※4}
	学生	7,000円	7,000円	10,000円 ^{※4}	8,400円 ^{※5}	10,000円 ^{※4}

※1 2009年2月27日(金)までに下記入会手続きを完了していれば、講演申込みが出来ます。それまでにご入会ください。(インターネット入会申込受付サービスをご利用下さい <http://www.jsce.or.jp/member/>)

講演申込及び聴講申込締切間際には事務処理の混雑が予想されますので、十分な余裕をもって入会諸手続きをとられるようお願いいたします。学生で大会開催までに卒業予定の方の登録参加料は、申込み時点での資格となります。

入会手続き

- ・インターネット入会の場合:①インターネット入会手続き、②会費納入(郵便振替用紙の通信欄に、受付番号を必ず記載してご送金下さい。)
- ・紙面による入会申込み:
 - ①郵送の場合:①入会申込書、②会費(郵便振替の払込票兼受領証のコピー)を同封する。
 - ②学会へ持参の場合:①入会申込用紙、②会費(現金)

【注】郵便振替は、入金確認ができるまでに数日を要します。十分に余裕をもって送金手続きをお願いします。

※2 講演者の登録参加料には講演申込料、参加費、CD-ROM版講演概要集代が含まれています。

※3 聴講者の登録参加料には参加費、CD-ROM版講演概要集代が含まれています。

※4 非会員の登録参加料は割増になります。

※5 事前登録参加申込みの期間(2009年7月31日まで)を過ぎますと、割増しの登録参加料を頂戴いたします。

● 問合せ先一覧

問合せ内容	担当	FAX	E-mail	住所
講演申込み	土木学会事務局企画総務課 全国大会係	03-5379-0125	office2@jsce.or.jp	〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 (外濠公園内)
入会手続き・会員番号	土木学会事務局会員課	03-5379-2769	member@jsce.or.jp	

1 年次学術講演会の概要

(1) 実施期日—2009年9月2日(水)、3日(木)、4日(金)の3日間

(2) 実施場所—福岡大学七隈キャンパス

(3) 講演部門

講演部門は次の7部門および共通セッションからなります。

(4) 講演内容

各部門の具体的なセッション名は、10～12ページをご覧ください。

第Ⅰ部門—応用力学、構造工学、鋼構造、耐震工学、地震工学、風工学、等

第Ⅱ部門—水理学、水文学、河川工学、水資源工学、港湾工学、海岸工学、海洋工学、環境水理、等

第Ⅲ部門—土質力学、基礎工学、岩盤工学、土地質、地盤環境工学、等(主な論点が地盤工学に関するものであること)

第Ⅳ部門—土木計画、地域都市計画、国土計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、景観・デザイン、土木史、測量、等

第Ⅴ部門—土木材料、舗装工学、コンクリート工学、コンクリート構造、等

第Ⅵ部門—建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・調達、施工技術、環境影響対応技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメント、等(主な論点が建設工事に関するものであること)

第Ⅶ部門—環境計画・管理、環境システム、用排水システム、廃棄物、環境保全、等

(いずれの部門においてもその部門に関連した地球環境問題を扱う。)

共通セッション—

上記の7部門を越えた研究および複数の部門に関連する研究のテーマを対象として、共通セッションを設けます。今年度の共通セッションのテーマは、公募によるテーマから9、10ページに示す13件が仮テーマとして選定されました。共通セッションの最終的なテーマ名は講演申込み完了後に決定されます。

年次学術講演会にふさわしい内容を備えたものとし、原則として未発表のものとしします。

(5) 講演時間

1題あたりの講演時間は、質疑時間を除き原則として7分とします。その他のセッションの運営については座長の指示に従ってください。

(6) 講演方法

各部門とも個人発表のみとします。一般発表では、聴講者が発表自体に注意を集中できるよう配慮してください。

液晶プロジェクター使用による発表を2004年度から全部門で実施しています。詳しくは、学会誌7月号とホームページでお知らせ致します。

(7) 講演申込題数

全部門を通じて講演者(登壇者)1人につき1題に限ります(ただし、共通セッション「土木教育一般」へ講演申込する場合は、研究関連セッションと合わせて2題のお申込が可能です)。

(8) 優秀講演者表彰について

例年通り、優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰いたします。

(9) その他

英語による講演も歓迎します。英文講演概要は、和文執筆要領に準じて作成してください。なお、ポスターセッションは、本年度も休止とさせていただきます。

(10) 講演資格

講演できるのは、土木学会会員もしくは海外の協定26学協会会員に限ります。

海外の協定26学協会

1. ASCE(米国土木学会)
2. CCES(中国土木工程学会)
3. CICHE(中国土木水利工程学会)
4. CNISF(フランス科学・技術者会議)
5. CSCE(カナダ土木学会)
6. ECCE(ヨーロッパ土木技術者評議会)
7. EIT(タイ工学会)
8. FECIC(メキシコ土木学会)
9. HKIE(香港工学会)
10. ICE(英国土木学会)
11. IE, AUST(オーストラリア工学会)
12. IEA(シンガポール工学会)
13. IEB(バングラデシュ工学会)
14. IEI(インド工学会)
15. IEM(マレーシア工学会)
16. IEP(パキスタン工学会)
17. KDPA(韓国防災協会)
18. KSCE(大韓土木学会)
19. MACE(モンゴル土木学会)
20. NEA(ネパール技術者協会)
21. PICE(フィリピン土木学会)
22. PII(インドネシア工学会)
23. SVR(スウェーデン土木構造工学会)
24. TCCE(トルコ土木学会)
25. VIFCEA(ベトナム建設協会)
26. TEE(ギリシャ工学会)

2 講演の申込みをされる方（講演者）

(1) 講演申込みの資格

講演申込みができるのは、申込時点で個人の土木学会の会員に限ります。非会員の方は、遅くとも2009年2月27日(金)までに土木学会入会手続きを完了してください。

電子投稿の際、土木学会会員番号や生年月日等の入力が必要となります。

協定学協会会員の電子申込は、記載内容が異なるため、下記の全国大会委員会係へお問合せご連絡ください。

(2) 講演の申込み(2004年度より、講演の申込みはインターネット上からの電子受付のみになりました。)

2009年3月2日(月)12時～4月10日(金)17時までの期間内に、土木学会全国大会委員会ホームページ<http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/>から講演申込と講演原稿を同時に投稿してください。具体的な方法は12ページ掲載の「講演申込要領」をご覧ください。

講演申込みはインターネット上からPDF形式ファイルのみで受け付けます。フロッピーディスク等の郵送、原稿持参による受付は致しませんのでご注意ください。

講演申込みした内容が正しく転送されているかどうかの確認期間を2009年4月13日(月)11時～16日(木)17時まで設けます。講演申込み者自身で必ず土木学会全国大会委員会ホームページ<http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/>から確認してください。

講演申込みが完了された方には、8月中旬に講演用の参加証およびCD-ROM版講演概要集をお送りします。この時期に確実に届く住所を記載してください。

原稿は17ページ掲載の「講演原稿執筆要領」に従ってご執筆ください。

申込み期間締切り間際に投稿が集中しますと、予期せぬ事態によりサーバーがダウンし受付ができなくなる恐れがあります。締切り間際の投稿は極力避けて頂くようお願いいたします。

また、登壇者の変更及び原稿の差し替え・修正には応じられ

ません。必ず最終原稿を電子投稿してください。

(3) 講演者の登録参加料

登録参加料は講演1件につき(講演申込料、参加費、CD-ROM版講演概要集代含む)として、10,000円(学生7,000円)になります。

4月17日までに銀行もしくは郵便局備え付けの振替用紙にてお支払いいただき、6ページの登録参加(講演)支払回答書に必ず講演申込時に発行された受付番号を記入の上、領収書を添付しFAXしてください。

事務局にて入金確認後、講演申込みの完了とさせていただきます。振込手数料は振込人負担でお願いします。

なお、原則登録参加料は前払いとなります。申込後に発表を取り消した場合でも、返金しません。

また、後払いの手続きは行いませんのでご了承の程お願いいたします。

年次学術講演会 郵便振替口座：

口座番号：00180-2-900773

口座名：社団法人 土木学会 全国大会口

入金確認が確実にいきますので、極力郵便振替での送金をお願いします。やむを得ず銀行振込とする場合は振込人の前に必ず受付番号(投稿完了時に採番されます)を入れてください。

みずほ銀行 四谷支店 普通 1085574

口座名義：社団法人 土木学会

シャ)ドボクガッカイ

(4) 採否

採否については、全国大会委員会にご一任ください。

所定期間までに原稿提出のないもの、登録参加料納付のないもの、電子受付で講演原稿執筆要領に準じていないもの、および期限後の電子投稿のものはCD-ROM掲載及び大会での発表はできません。

◆第64回年次学術講演会 登録参加(講演)支払回答書(平成21年度)◆

(FAX番号:03-5379-0125)4月17日まで

FAXの場合、送信票(表紙)はつけないで発信してください。

受付番号 (番号が若い順に 記入ください。)	フリガナ 講演者名	土木学会 個人会員番号(9桁)	▼該当する欄に○印をつけてください。	
			正会員(個人) 10,000円	学生会員 7,000円
合計人数	名	払込合計金額(振込手数料 はご負担ください。)	円	
払込日	月 日	払込郵便局名:	郵便局	
<p>通信欄: 払込済み郵便振替受領証の縮小コピーを必ずこの欄にのり付けしてご提出ください</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>郵便振替口座: 口座番号: 00180 - 2 - 900773 口座名: 社団法人 土木学会 全国大会口 ※振替用紙の通信欄には必ず受付番号をご記入ください。</p> </div>				

連絡者	氏名			
	勤務先名 ・部署等 (ご自宅の場合 ご記入不要)			
	住所及びTEL	〒	—	
TEL :		FAX :	E-mail :	

3 講演はせず聴講のみで参加される方（聴講者）

年次学術講演会の聴講のみを希望される方は（連名者含む）、2009年6月22日（月）～7月31日（金）までに登録参加（聴講）申込みの手続きを済ませてください。講演者は、改めて申し込み手続きをされる必要はありません。

なお事前登録期間を過ぎましたら大会当日に参加登録をお願いします。

講演プログラム等の詳細につきましては、2009年6月下旬に土木学会ホームページへ公表しますのでご参照ください。

(1) 聴講のための登録参加申込みの資格

聴講のための登録参加申込みができるのは、個人の土木学会会員、非会員いずれも可能です。ただし、登録参加料が異なります。詳細は「(2) 聴講者の登録参加料」に記載します。非会員の方はこれを機会に学会への入会をお勧めします。

なお会員価格は個人会員に限ります。

(2) 聴講者の登録参加料

聴講者の登録参加料（参加費、CD-ROM版講演概要集を含む）は、個人の土木学会の会員、非会員の別、および事前登録・当日登録の別によって、料金が異なります。下表をご覧ください。

		聴講者の登録参加申込時期	
		事前登録 (2009/6/22～7/31)	当日登録
会員 個人	一般	10,000円	12,000円
	学生	7,000円	8,400円
非会員	一般	20,000円	20,000円
	学生	10,000円	10,000円

(3) 聴講者の登録参加申込み方法

- 7月31日（金）までに登録参加申込書（8ページ）をFAX、郵送（当日消印有効）または持参してください。FAXの場合、送信票（表紙）はつけないで発信してください。郵送の場合、封筒に、登録参加申込書と朱書きしてください。
- 登録参加料は、郵便局備付の郵便振替用紙を使用して8月7日（金）までに下記口座にお支払ください。また、入金確認のため、登録参加料欄に払込票兼受領書の縮小コピーを添付してください。事務局にて確認した後、8月中旬に参加証およびCD-ROM版講演概要集をお送ります。

なお、登録参加料は振込み後の返金はできません。

年次学術講演会 郵便振替口座：
 口座番号：00180-2-900773
 口座名：社団法人 土木学会 全国大会口

- 参加証およびCD-ROM版講演概要集は郵送いたしますので、送付先は郵便番号から正確にご記入ください。送付先が勤務地の場合は、勤務先名称を必ずご記入ください。なお、複数人でお申込の場合は、参加証送付先記入欄に記入してある方にまとめてお送りいたします。
- 滞りなく速やかに登録処理を行うため、記入漏れがないよう今一度ご確認の上お送りください。

申込先：
 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目（外濠公園内）
 （社）土木学会 全国大会係
 FAX：03-5379-0125

● 共通セッションテーマ

(年次は西暦2009年)

年次学術講演会では7部門に分かれたセッションを設けます、さらに、これらの7部門を越えた研究および複数の部門に関連する、研究のテーマを対象として、共通セッションを設けます。

今年度の共通セッションには、後掲の13件が仮テーマとして選定されました。共通セッションにおける講演を希望される方は、電子申込みの際に第一志望欄に、希望するセッション名を選択してください。

また、仮テーマが成立しない場合のために、第2、第3志望欄に一般セッションの部門・名称を必ず選択して下さい。

共通セッションの最終的なテーマ名および構成は、講演申込み完了後、全国大会委員会で決定されます。申込み状況により、共通セッションを構成するに不十分なテーマについては、従来どおり各部門における発表とします。

なお、共通セッションの講演概要もCD-ROM版講演概要集に掲載されます。

CS1 土木教育一般

土木の分野においては、土木教育全般にかかわる課題に加えて、JABEE、継続教育、技術者倫理教育、技術者資格など人材育成関係の活動が活発に行われており、教育の重要性が広く認識されている。本セッションでは、これらの教育活動全般にかかわる課題を幅広く募集する。

※CS1 土木教育一般の他に研究関連セッションへの投稿もお考えの場合は、事務局全国大会係へお問い合わせください。

CS2 複合構造物

複合構造は異なった材料の長所を組み合わせ、求められる性能に対して合理的で理想的な構造を実現しようとするものである。中でも、鋼とコンクリートの複合構造は活発に研究され実施例も多く一分野を形成するに至っている。一方、プラスチック系材料、新素材等新たな異種材料による複合構造も出つつある。本セッションでは、それら異なった材料を対等の視点で捉え複合構造の可能領域を広げるのに役立つ発表と討議の場を提供する。キーワード：複合構造、合成構造、合成はり・桁、合成版、合成柱、異種部材接合、ずれ止め、FRP材料、新素材、補修、補強、維持管理。

CS3 International Session(国際セッション)

JSCE cordially invites participants who wish to make a presentation at the International Session, the JSCE 64th Annual Meeting to be held at Fukuoka University, on 2-4 September 2009.

Topics:

1. Project Management/ International Cooperation,

International Contributions/ Technical Cooperation, Technology Transfer, Technical Support/ Technical Standards and International Comparability

2. Civil Engineers in the International Arena/ Civil Engineers' Responsibilities and Contributions to Sustainable Development/ Civil Engineers' International Contributions/ Civil Engineers' Mission, The Public's Expectations on Civil Engineers, Who are Civil Engineers?

3. Others related to the international activities of Civil Engineers Besides the suggested topics above, various views, opinions and suggestions as to civil engineering and civil engineers are welcomed.

Presentation in English is recommended.

CS4 国際プロジェクトの手法と実践

グローバル化が進む現在、わが国の土木・社会基盤の技術をアジアをはじめとする海外のインフラ整備に活用し、その存在感を高めることが重要である。本セッションでは、海外の公共事業や国際開発援助等の国際的なプロジェクトにおいて、わが国の技術を活用するための普遍的な方法論の構築を目指し、技術移転や計画・制度整備、事業マネジメント等を含む多様なテーマについて、理論的な側面から実践に基づく知見まで幅広く議論する。

CS5 放射性廃棄物の処分技術

わが国が進める核燃料サイクル政策において、高レベル放射性廃棄物、低レベル放射性廃棄物に対しては、安全かつ合理的な処分方策を講じることは極めて重要である。放射性廃棄物処分における処分施設の設計・施工は土木技術に基づく事業であり、土木技術者が責任を持って対処することが求められている。その実現に向けた課題は、岩盤物性評価、地下構造物の設計、地下水流動、コンクリートの長期的耐久性など多岐にわたる。そのため、各部門の研究者が議論できる場を提供するものである。

CS6 土木分野におけるデジタル画像の利用と可能性

高画質で低価格なデジタルカメラの急速な普及や画像解析技術の進歩によって、設計・施工データのビジュアル化や工事写真管理、現場計測などにデジタル画像が手軽に利用されるようになってきた。また、動画画像も低コストでコンピュータで扱えるようになり、デジタル画像利用の新たな可能性が期待される。本セッションでは、これらのデジタル画像を土木分野へ適用する種々の試みや事例に関する論文を募集する。

CS7 土木工学発展に向けた資料の収集・保存・提供と利活用

情報社会の現代、改めて、土木の営みにかかわる情報の蓄積や利活用について検討が求められている。

現在、土木工学や土木技術に関する資料の収集・保存、利活用に向け、データベースの充実や資料のデジタル化と提供、検索システムの改良、アーカイブスの構築、情報共有の技術開発や適用などが求められている。

本セッションは、書籍、論文、図面、写真、映像、音声記録などの、各種資料の収集・保存・提供や利活用、情報共有に関する研究の現状と今後を検討し、土木工学の発展に資する情報環境の整備について議論する場としたい。

CS8 計算力学

次の各分野における計算技術の発展・展開に関する研究を募集する。(a)FDM、FEM、BEM、メッシュレス法等の解析手法。(b)高速解法、アルゴリズム、適応型計算法、モデル生成、可視化手法、並列計算、マルチスケール法等の計算力学手法。(c)破壊問題、大変形問題、材料非線形問題、接触問題、動的問題、波動問題、固体流体連成問題、乱流、移動境界問題、地球環境・気象、騒音問題、逆問題、最適化・制御問題等への応用。

CS9 火山工学

地盤工学委員会火山工学研究小委員会では、工学の立場から火山の恵みと災いに関する調査・研究を行ってきている。有珠山、三宅島での噴火災害、岩手山、磐梯山、浅間山の火山性地震、富士山の低周波地震等が発生したこともあり、火山災害対策の必要性が高まっている。特に、富士火山では近年ハザードマップが作成され、多くの活火山でもハザードマップの利用や事前の対策が重要視されている。本セッションでは、火山の利用と防災に関する事例研究を対象とするとともに、火山防災教育・啓蒙のあり方や都市での火山災害対策や火山防災計画・ライフラインの減災などに関するテーマも対象とする。そして、火山工学という学問分野を確立するための議論も行う。

CS10 地下空間の多角的利用

地下空間を有効利用するために、総合的な観点(都市計画、法制、経済性、心理、生理、防災、環境、建設、維持管理、歴史、文学等)から、価値を再認識することが本セッションの目的である。

ここでは都市部に限らず、幅広く地下空間利用の実例について注目し、多角的な利用を推進するための新しい視点・技術の提案、最新の知見を駆使した計画・実例を紹介する。

CS11 流域管理と地域計画の連携

河川は、治水、利水、環境と言った多様な側面で地域と密接な関わりを持っており、そこに生じる諸課題には、水工学と土木計画学とが連携をして取り組むべき課題が多く存在する。本セッションは、河川をキーワードに、流域管理と地域計画の連携の視点から取り組んだ研究について、幅広く議論を展開し、今後の連携研究の活性化、新たな研究テーマの発掘を目指す。

CS12 エンジニアリング・デザインとその教育

—創造と統合、その能力向上に向けて—

社会資本の整備と維持管理に関する近時のニーズ変化は、従来にも増して、それに携わる土木技術者が、ものごとを創造的に統合していくエンジニアリング能力を発揮し、社会的合意形成も含めた適切な解決策を提示することを必要としている。この課題は、従来の我国において必ずしも重要な位置付けをされてこなかったエンジニアリング・デザイン教育の問題であり、その能力向上を目指す人材教育は国際競争力の観点からも、わが国の高等教育に要請されている。本セッションでは、エンジニアリング・デザインをキーワードとし、その理念から教育の具体論までの全般にかかわる発表を、産・学・官より幅広く募集する。

なお、この課題は土木技術者の育成として、継続して充実させる必要がある課題であり、平成19年度から始めたプログラムである。

CS13 新設および大規模改修時における橋梁計画

橋梁の新設や大規模な改修を計画するに当たっては、本体の構造設計や材料選択のみならず、維持管理や社会的コストを含めた経済性、自然環境や景観への配慮、防災計画における位置づけ、契約方式や計画に対する合意形成等々、分野を超えた様々な要素を勘案した総合的な技術的検討が重要であり、「橋梁」を切り口に幅広い議論の場としたい。

●部門別セッション名

※各部門内のセッション名を整理し区分しました。その結果、セッション名が大きく変更となっている場合がありますのでご注意ください。なお従来のI部門の合成構造、V部門の合成・複合構造は共通セッションの複合構造にご投稿ください。

※研究関連セッションの他に、「CS1 土木教育一般」への投稿もお考えの場合は、事務局全国大会係へお問い合わせください。

第I部門

[応用力学] 固体力学、計算力学(構造)、計算力学(非構造)、計算力学(アルゴリズム)、弾塑性、有限変位、振動、波動、衝撃(解析)、衝撃(実験)、数値解析

[構造工学] 骨組・骨組部材、薄肉構造、板、シェル、橋梁床版、

エキスパートシステム、特殊構造、最適設計、安全性・信頼性、維持管理、構造計画、構造景観、構造同定、診断・補修・補強、宇宙構造物

[鋼構造] 座屈・耐荷力(桁)、座屈・耐荷力(柱)、座屈・耐荷力(板)、座屈・耐荷力(その他)、非破壊評価、破壊力学、疲労、溶

接、接合、継手、橋梁一般(設計)、橋梁一般(施工)、橋梁一般(測定)、橋梁振動(理論)、橋梁振動(実験・測定)、木橋・木質構造

[地震工学/工学地震学] 震害、断層変位の対策・計画、地震危険度・地震動(震源特性)、強震動予測、地盤震動(観測)、地盤震動(解析)、地震防災、リアルタイム地震工学、設計地震動、地盤液状化

[耐震構造] 振動制御(パッシブ)、振動制御(アクティブ)、振動制御(事例報告)、免震構造・設計、落橋防止構造、地震応答解析、橋梁の耐震、基礎の耐震、ダム・タンクの耐震、トンネルの耐震、都市施設の耐震、地中構造物の耐震、耐震設計法、耐震補強、耐力・変形性能、耐震実験、盛土の耐震

[風工学] 耐風・風工学(数値流体)、耐風・風工学(基礎)、耐風・風工学(応答予測・制御)、耐風・風工学(事例報告・観測)

[複合構造] 複合構造、合成構造、FRP材料、新素材、合成はり・桁、合成版、合成柱、異種部材接合、ずれ止め、補修、補強、維持管理

第II部門

[水理学・環境水理等] 物質輸送・循環(栄養塩類等)、河川の水環境(物理学的動態解析)、閉鎖水域環境(湖沼・貯水池における物理学的動態解析)、流体力学、数値流体力学、乱流、管路の水理、開水路・複合水路(複断面・わんど)の水理、閉鎖水域の水理(湖沼・貯水池)、河口の水理・水質、拡散・分散、密度流、流砂(土石流、泥流、掃流、砂浮、遊砂、ウオッシュロード、底泥)、河道の水理、氾濫流の水理、水理構造物、構造物周辺の流れ・洗掘、流体力、植生水理、水理計測・観測手法

[水文学・水資源・河川工学] 地球環境問題、自然共生、水圏環境の保全・再生・創造、水圏の生態系(魚類・底棲生物・植生等)、水災害リスクマネジメント・危機管理、都市の水・熱環境、地球規模の水・エネルギー循環、気候変動・社会変動と水循環、国際的プロジェクト・国際協力、土砂の生産・流出、水系土砂管理、流路・河床形態、流路・河床変動、河川地形、ダム堆砂・排砂、流況制御、河川工法、河川環境構造物(魚道・人工生息場等)、河川計画・管理、流域管理・計画、都市雨水流出管理・計画、水災害・防災、都市の水災害、国際的水問題、地下水理・地下水文、PUB・予測と不確実性・スケール問題、水文・水循環計測、水文統計、流出・洪水、水資源計画・管理、大気水象(降水・雲)、大気陸面相互作用

[海洋・港湾・海岸工学] 沿岸域の環境・生態系、沿岸域のアメニティー・人間工学、波動、碎波・遡上、風波・不規則波、高潮・津波・長周期波、海底・海水面境界過程、沿岸域の流れ、波力・流体力・氷力・地震力、波・流れ制御・利用構造物、海岸・海洋・港湾・水産施設、漂砂機構、飛砂・飛沫、海岸地形、漂砂制御、局所洗掘、底泥の挙動、海岸地盤、海岸災害・防災、海岸・海洋の資源・利用、港湾・海岸計画

第III部門

[地盤材料・一般] 土の物理化学的性質、砂の変形強度、粘土の変形強度、土の動的性質、土木地質、岩の工学的性質、試験法・調査法、土質安定処理・地盤改良、流動化処理土、特殊土、不飽和土

[地盤の挙動] 地盤の動的挙動、圧縮・圧密、地盤の応力と変形、透水・浸透、現場計測、凍結・凍土、数値解析、地盤の性能評価

[地盤と構造物] 土圧、地圧、支持力、杭、基礎工、トンネル、シールドトンネル、地下空洞と地下構造物、地下利用、掘削、土留め、補強土、締固め、路床・路盤、フィルダム、施工機械、維持・補修

[地盤防災] 斜面、安全性・信頼性、火山工学、都市地盤情報、リスクマネジメント、洗掘・侵食

[地盤環境] 廃棄物、土壌地下水汚染、リサイクル

第IV部門

[土木計画] 計画理論、信頼性・リスク分析、社会・経済分析評価、プロジェクト評価、計画情報・情報処理、施工管理計画、港湾計画、空港計画、物流

[地域都市計画] 都市・地域計画、都市整備・都市開発、土地利用計画、観光・余暇計画、パブリックインボルブメント・住民参加

[国土計画] 資源・エネルギー、防災計画、災害分析、環境計画

[交通計画] 交通調査方法論、交通発生、交通分布、交通手段分担、交通配分、交通ネットワーク、交通アセスメント、交通需要マネジメント、交通情報提供、交通サービス評価、地区交通、駐車場・駅前広場、歩行者・自転車交通、高齢者・身障者交通、タクシー・STサービスの交通政策・交通システム、公共交通

[交通工学] 道路工学、交通流、交通制御、交通公害、交通事故

[鉄道工学] 鉄道工学(軌道力学)、鉄道工学(軌道保守・軌道構造)、鉄道工学(一般)、鉄道工学(防災)

[景観・デザイン] 景観デザイン、景観調査・分析、景観認識、景観評価

[土木史] 土木史

[測量] 測量・リモートセンシング

第V部門

[土木材料] リサイクル、新材料・新工法(材料)、骨材、混和剤、混和材、フレッシュコンクリート、高流動コンクリート、水中コンクリート、軽量コンクリート(材料)、吹付けコンクリート、短繊維補強コンクリート(材料)、連続繊維補強コンクリート(材料)、海洋コンクリート、特殊コンクリート、物性、評価・試験方法、セメント化学、引張・圧縮、クリープ・収縮、ひび割れ、温度応力、製造・施工、品質管理・検査、ポンプ圧送、締固め、維持管理、劣化予測、耐久性一般、耐火性、複合劣化、鋼材腐食、防食、塩害、凍結融解、アルカリ骨材反応、非破壊試験法、補修・補強(材料)、耐久性設計、副産物利用・再

生材料、再生コンクリート、エコ・緑化コンクリート、リニューアル、ライフサイクル(LCC・LCA)

[舗装工学] 路面評価(舗装)、構造評価(舗装)、構造設計(舗装)、維持・修繕(舗装)、リサイクル(舗装)、環境保全(舗装)、舗装材料、路床・路盤、アスファルト系舗装、セメント系舗装、特殊舗装、舗装一般

[コンクリート工学/構造] 新材料・新工法(構造)、軽量コンクリート(構造)、短繊維補強コンクリート(構造)、連続繊維補強コンクリート(構造)、プレレストコンクリート、プレキャストコンクリート、コンクリート製品、補修・補強(構造)、破壊力学、曲げ、せん断・ねじり、耐震、振動、耐震補強、耐震診断、付着・定着・継手、疲労・衝撃、数値解析、構造設計、構造物調査・診断

[複合構造] 複合構造、合成構造、FRP材料、新素材、合成はり・桁、合成版、合成柱、異種部材接合、ずれ止め、補修、補強、維持管理

第Ⅵ部門

[建設事業計画] 事業計画、計画技術、知的情報処理

[設計] 設計概念、景観設計、設計技術

[施工(積算・契約・労務・調達)] 調達問題、入札・契約、積算・見積、資金調達

[施工(技術)] 施工計画、施工技術、建設CALS、建設ロボット、自動化システム、情報化施工、測量・計測、GPS、GIS、リモートセンシング、技術開発、新材料・新素材、海外工事、建設環境(リサイクル・土壌浄化・水質浄化・廃棄物)、河川構造物、港湾・海洋構造物、空港、橋梁、開削トンネル、シールドトンネル、山岳トンネル、地下構造物、ダム、各種基礎、特殊構造物、土留め、地盤改良、耐震・免震

[施工(管理)] コスト管理、品質管理、工程管理、安全管理、品質保証

[維持・管理] 検査技術・診断、リニューアル(維持管理・補修・補強・更新)

[建設マネジメント] 建設マネジメント、プロジェクトマネジメント(PM/CM)、公共マネジメント、公共政策、PFI、組織・人材育成、建設技術評価、建設産業・建設市場

第Ⅶ部門

[環境計画] 環境影響評価、環境リスク評価・管理、地域環境計画・管理、森林・植生、環境創造・ビオトープ、水資源・水需給、国土・都市更新

[環境システム] 環境意識・環境教育、環境倫理、環境経済、循環型社会、ライフサイクルアセスメント(LCA)、都市環境、熱環境・エネルギー

[用排水システム] 生態工学、浄水処理、下水処理、物理化学処理、嫌気性処理、膜分離・処理、生物膜処理、栄養塩除去、上下水道管理、都市雨水流出管理

[廃棄物] 汚泥処理技術、廃棄物収集・処理・処分計画、埋立処分場管理、循環資源・リサイクル

[土壌・水環境(魚類を除く生物学的・化学的な動態解析と環境改善技術)] 水質モニタリング・解析、生態系モニタリング・解析、水質浄化技術、自然浄化機能、水環境モデリング、水辺環境計画・管理、流域環境計画・管理、底泥、遺伝子工学、毒性評価、有害物質環境汚染、内分泌攪乱化学物質、土壌・地下水汚染(分析修復技術)、バイオレメディエーション

[大気環境・騒音振動] 大気モニタリング・解析、大気浄化技術、大気環境モデリング、悪臭、騒音、振動、酸性雨、温暖化対策

共通セッション

CS 1 土木教育一般

CS 2 複合構造物

CS 3 International Session(国際セッション)

CS 4 国際プロジェクトの手法と実践

CS 5 放射性廃棄物の処分技術

CS 6 土木分野におけるデジタル画像の利用と可能性

CS 7 土木工学発展に向けた資料の収集・保存・提供と利活用

CS 8 計算力学

CS 9 火山工学

CS10 地下空間の多角的利用

CS11 流域管理と地域計画の連携

CS12 エンジニアリング・デザインとその教育

—創造と統合、その能力向上に向けて—

CS13 新設および大規模改修時における橋梁計画

● 講演申込要領(電子申込み)

■ 最新情報・変更事項

この要領が発行されて以降の最新情報や変更事項については、以下の土木学会全国大会委員会ホームページ上に掲載します。実際に申し込む前に早めに確認しておいてください。

<http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/>

■ 投稿締め切り3日前までの投稿をお勧めします。

締切間際には、かなりの件数の申込みが殺到するものと予想されます。その場合、原稿ファイルを送るのに1時間以上を要したり、ホームページへのアクセス自体が困難になるなどの不都合が生じると考えられます。システムを快適に使用するには、なるべく早めの申込みをお願いします。

■申込み内容・投稿原稿は後で修正ができません。

いったん、申込み・投稿を済ませると、修正・差替えはできません。申込み・投稿は慎重に行ってください。

■申込み締切後に確認を行ってください。

申込み締切後に、確認期間を設けます。申込み内容を会員自身で必ずチェックしてください。確認期間は4月13日(月)～4月16日(木)です。

■トラブル発生時の措置

万が一、トラブルが生じた場合の措置については、土木学会ホームページ上に掲載します。その指示にしたがって対応してください。

■大まかな手順

1. ホームページ上での申込みと投稿

申し込み期間中に、土木学会ホームページ上で申込み書に記入事項を入力し、原稿ファイルを送信する。

2. 申込み・投稿内容の確認

申込み期間終了後の確認期間中に、申込み内容を自分でチェックする。

3. 登録参加料の支払い

所定の期間内(4月17日)までに登録参加料をお支払いいただき、支払回答書(6ページ)を学会宛てにFAXしてください。事務局にて入金確認後、講演申込みの受理とさせていただきます。

1. ホームページ上での申込みと投稿

【手順の概要】

- (1) 講演者の会員番号と生年月日を入力して認証を受ける。
- (2) 講演者の氏名、所属、その他の項目を入力する。
- (3) その内容を確認し、必要があれば修正する。
- (4) 原稿ファイルを指定して送信する。
- (5) その内容を確認し、必要であれば再投稿する。内容がよければ、申込み・投稿を完了する。

※(5)で「完了」をクリックすると、修正・再投稿はできません。慎重をお願いします。

※最後の「申込み・投稿完了ページ」には、後日に申込み確認を行う際に必要な情報が表示されます。メモをとるか、プリントアウトするか、ファイルとして保存するかなど、何らかの手段で記録を残してください。

【手順の詳細】

- (1) 土木学会全国大会委員会ホームページから「大会実施要領」のページにアクセスしてください。URLアドレスは下記の通りです。
<http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/>

- (2) ここで「電子申込のページ」をクリックし、さらに「電子投稿」をクリックする。画面1が表示されるので注意事項をよく読み、会員番号欄に講演者の会員番号を、生年月日欄に生年月日を入力し「次へ」ボタンをクリックします。正しく認証されると画面2が表示されます。

〈画面1〉

〈画面2〉

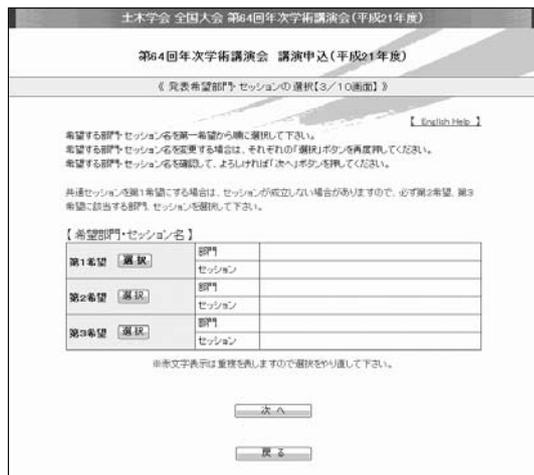
- (3) 画面2では、講演者欄を入力します。会員種別は▼マークをクリックして現れるリストから選択します。所属機関は次の場合を

除いて省略しないで下さい。また、所属が英字形だけの場合は英文欄のみ入力して下さい。

- ①「株式会社」「財団法人」「Limited」等は記入しない。
- ②略称の方がよく知られている場合(JR、NTT等)は、略称の形を用いてもよい。

パスワード入力欄(画面の下)では、**半角英数字8文字**固定で入力します。このパスワードは、後の論文ファイル参照時と確認・修正期間の認証や、事務局への連絡の際に必要となるので、**忘れないようにして下さい**。正しく入力できたことを確かめ「次へ」ボタンをクリックして下さい。

- (4) 次に画面3では、発表希望セッションの第1志望を選択します。選択ボタンをクリックすると、画面4が表示されますので希望セッション名の前にある○印をクリックし、それが●に変わったことを確認してから希望部門下部の「第1希望(または第2希望、第3希望)選択完了」ボタンをクリックして下さい。



〈画面3〉

- (5) 画面3では、前の画面で指定した発表希望セッションが表示されます。第2志望、第3志望のセッションを指定する場合は各希望の「選択」ボタンをクリックして下さい。後は(4)での作業と同じです。

共通セッションを第1志望にした場合、必ず一般セッションから第2志望、第3志望を指定して下さい。



〈画面4〉

- (6) 画面5では、題目、概要、キーワードを入力します。まず、原稿の言語、講演の言語の種別を選択します。次に題目を入力します。主題の他に副題もある場合は、それも入力して下さい。文字数は、和文全角100字以内、英文半角200字以内です。また、一連の研究を何編かに分けて発表する場合は、それぞれが1編ごとに独立した内容でなければ講演できません。この場合、副題を「その1」「その2」等とだけ付けて講演題目とすることは避けて下さい。

題目は必ず論文ファイルの題目と一致させてください。

和文概要は、研究の目的、要旨(特色)、結論などを300字以内で簡明に記述して下さい、英文概要は空白も含めて半角600字以内で記入して下さい。キーワードは単に表題中の語を再録するのではなく、その研究が検索される上で最も効果的と思われるものを和文・英文ともそれぞれ6個以内で記入して下さい。内容を確認したら「次へ」ボタンをクリックして下さい。

- (7) 画面6では、連名者情報、請求書・参加証・CD-ROM送付先、連絡先を入力します。連名者の入力4名まで可能、ただし学会誌7月号と大会当日に配布するプログラム目次には、紙面の都合上、連名者欄上段から2名までしか掲載されません。(CD-ROM概要集とホームページに掲載するプログラム目次には、連名者4名まで掲載されます)。連名者欄の入力方法は(3)を参照して下さい。

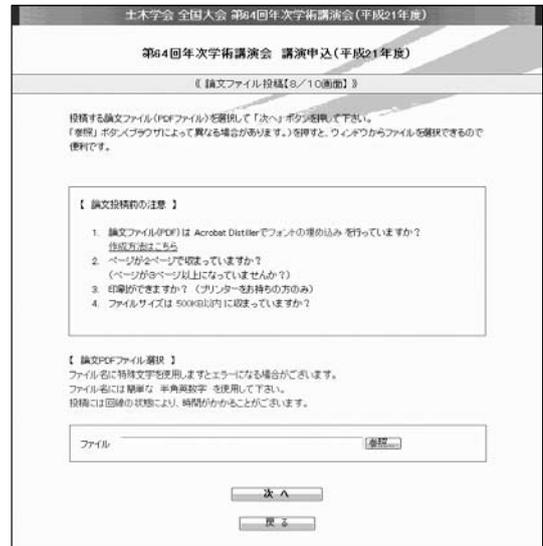
参加証・CD-ROM送付先欄では、後日参加証・CD-ROMを送付する郵便番号、住所(部署、学科・研究室名まで)、氏名を入力します。内容を確認したら「次へ」ボタンをクリックして下さい。



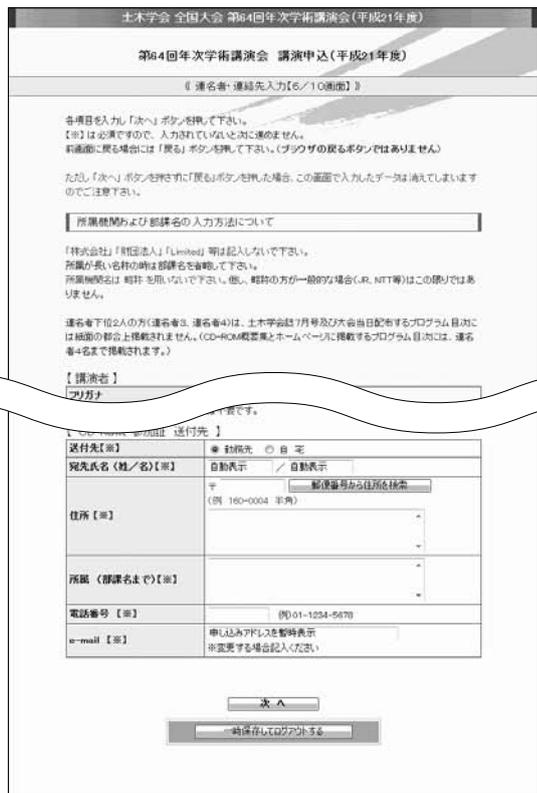
〈画面5〉

合は「戻る」ボタンをクリックします。

(9)画面8では、論文原稿ファイル(PDF)を投稿します。投稿するPDFファイルは必ず、Acrobat Distillerでフォントの埋め込みを行いPDFを作成して下さい。ファイルサイズは500KB以内です。



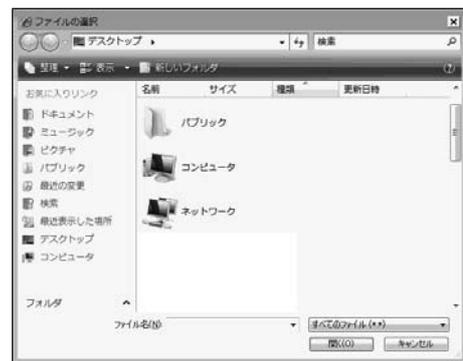
〈画面8〉



〈画面6〉

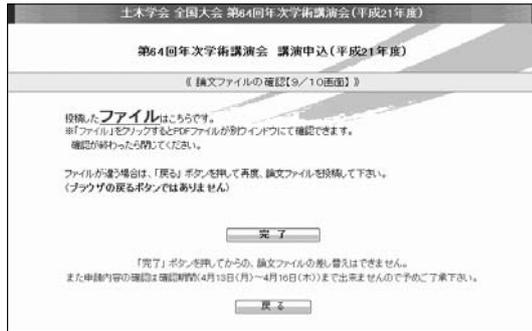
(8)画面7(画面は省略します)では、今まで入力した内容を一覧表示します。内容に誤りや文字化けなどの破損がないか今一度チェックし、よければ「次へ」ボタンをクリックし、修正する場

ファイル欄に投稿するファイル名をドライブ名からフルパスで入力します。直接タイプでも可能ですが、「参照」ボタンをクリックしてダイアログから指定した方が確実に簡単です(<原稿ファイル参照ダイアログ>を参照)。このとき、画面8の項目「ファイル」には、ドライブ名およびパス(経由するすべてのフォルダ)も指定されていることを確認してください。



〈原稿ファイル参照ダイアログ〉

内容を確認したら「次へ」ボタンをクリックして下さい。これにより、原稿ファイルはシステム側に送信されますが、送信にはファイルサイズや回線の混雑具合から、かなりの時間を要する場合があります。必ず次の画面9が表示されるまで、待機して下さい。



〈画面 9〉

- (10) 画面9では、投稿した論文の確認を行います。システム側が受け取ったファイルを表示しますので、自分が送ったファイルと一致するか確認して下さい。また、変換されたPDFファイルが破損していないか、2ページになっていないか、必ず確認して下さい。

ファイルを参照して破損が認められたりした場合には、「戻る」ボタンをクリックし再投稿して下さい。問題がなければ「完了」ボタンをクリックして下さい。ただし、一度「完了」ボタンを押してしまうと、論文ファイルの再投稿はできないので慎重に行ってください。

- (11) 画面10で受付番号が採番され、申込・投稿が完了したことになります。ここには、申込確認・修正時に使うパスワードが表示されます。メモをとる、プリントアウトする、ファイルとして保存するなど、何らかの手段で記録して下さい。



〈画面 10〉

2. 申込み・投稿内容の確認

申込締切後に、確認・修正期間を設けます。申込・投稿ファイルに破損がないか会員自身でチェックして下さい。極端な場合、システムのトラブルで「申込みしたこと自体」が失われている場合がありますので、この確認作業は必ず行って下さい。手順は以下の通りです。

- (1) 土木学会全国大会委員会ホームページから「電子投稿内容確認のページ」にアクセスします。URLアドレスは <http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/> です。
- (2) 画面11が表示されますので、注意書を良く読み会員番号欄に会員番号、パスワード欄に、申込の際に登録したパスワードを入力します。「次へ」ボタンをクリックします。



〈画面 11〉

正しく認証されると画面12が表示されます。この時点で認証されてない場合には、事務局に連絡して下さい。具体的な連絡先・方法は、土木学会全国大会委員会ホームページに掲載します。

- (3) 画面12では、申込みされた内容に間違いがないかチェックします。原稿ファイルを参照するには、「投稿された論文の確認」をクリックします。するとパスワード入力ダイアログが出てきますので、ユーザ名に会員番号、パスワードに(2)で入力したパスワードを入力します。正しく認証されればファイルが参照できます。また、参照するにはAdobe Readerがインストールされていることが必要です。確認し、よろしければ「終了」ボタンをクリックして下さい。修正する場合には「修正」ボタンをクリックして下さい(注意：講演者及びPDFファイルの修正はできません)。原稿ファイルに何らかの破損が見られる場合には、事務局に連絡してください。具体的な連絡先・方法は、土木学会全国大会委員会ホームページに掲載します。

3. 登録参加料の支払い

所定の期間内(4月17日まで)に登録参加料をお支払いください。事務局にて入金確認後、講演申込みの完了とさせていただきます。

以上

● 講演原稿執筆要領

本文は、PDFファイルによる電子投稿原稿作成の執筆要領です。

WEBでも詳しく案内しています。(http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/)

1. 目的

講演概要集の目的は、聴講者の便宜のため、かつ来場できない会員に講演内容を伝えるために作成します。したがって、聴講者が研究の目的、考え方、手法および結論を理解できるように配慮して下さい。

2. データ書式

原稿は、Adobe Acrobatを用いて変換された、PDFファイルで提出して頂きます。ファイルサイズは500KB以内とし、印刷した場合のページ数がA4判・2ページとなるよう原稿を作成して下さい。これを超えた原稿は受け付けられません。また、投稿するファイルはPDF形式とし、圧縮ツールは使用しないで下さい。

なお、Adobe Reader(アドビシステムズのホームページよりダウンロードできます)を用いて、作成したPDFファイルの原稿が執筆者の意図したとおりに印刷されることを確認して下さい。

PDF化にあたっての解像度の設定は制約を設けません。上記のファイルサイズ以内に納まる限り、執筆者の自由とします。ただ、印刷の場合を考慮すると、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は1200dpi程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像(写真等)の解像度は300dpi程度が目安になります。(Adobe Acrobat Distiller4.0もしくは5.0におけるジョブオプションの「Print Optimized」に相当)

なお、CD-ROM編集の障害となりますので、PDFファイルにパスワードの設定は絶対に行わないで下さい。

3. 使用アプリケーション

原稿作成に使用するプラットフォーム/アプリケーションソフトは問いませんが、最終的に投稿するファイルはPDF形式(Version1.3互換)とし、Adobe Reader 5.0から9.0で表示/印刷できるものとします。

PDF化にはいくつかの方法がありますが、上記を満足する限り、執筆者の判断で適宜選択して頂いて結構です。

4. 用紙設定

A4判・縦(210×297mm)とし、上下余白各18mm、左右余白各15mmを必ず確保して下さい。(上下余白は、柱、ページ記入に必要です。)

5. 書式

横書き、48文字/行、42行/ページ程度を標準とします。(2段

組でもよい) 本文の文字の大きさは10または10.5ポイント程度としフォント、英数字はTime(Times New Roman) / Helvetica / Symbol等を、日本語は明朝、ゴシック等を使用して下さい。

日本語フォントにおけるギリシャ文字(σ δ ϵ 等)の使用は可能ですが、機種/フォントに依存する特殊文字(①、②、I、II、m等)、半角カナおよびHG系のフォントは文字化けの原因となりますので使用しないで下さい。

上記は、異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要です。

6. 表現方法

文字色は黒とします。図・表・写真等については色の制約はありませんが、白黒モニター/プリンタに出力した際に問題が生じないように配慮して下さい。

なお、原稿の中に関連するホームページへのリンクを作成しても構いません。

7. 書き出し

原稿の1ページ目には、題目・勤務先・会員種別・氏名・本文の順に書いて下さい。

題名は第1行の中央に配置し、左側は後からの講演番号記入用にマージンから20mm程度あけるようにしてください。次に1行あけて、勤務先・会員種別・講演者名(連名の場合は登壇者(前に○印を記入)、連名者の順)を右側に寄せて書き、1行あけて本文を書き出して下さい。

8. キーワード・連絡先

1ページ目最下段に罫線を入れ、キーワード(6語まで)および連絡先を記述して下さい。

9. 図・表・写真

図・表・写真等は原稿に張付けた状態でPDF化することとし、別ファイルにしないで下さい。

10. 原稿の取扱い

原稿ファイルは電子申込み時に同時に送信することになります。ただし、何らかのトラブルで印刷原稿を再送していただく必要が生じる可能性がありますので、原稿ファイルは削除しないで保存しておいて下さい。

なお、登載された原稿は返却いたしません。

11. 原稿受付期間

受付期間：2009年3月2日(月)12時～2009年4月10日(金)17時
提出先：土木学会ホームページの年次学術講演会電子申込みページ(http://www.jsce.or.jp/committee/zenkoku/)

※電子受付の場合、締切直前はサーバが大変混雑することが予想されるため、できるだけ早めの申込みをお願いします。

14. 参考ホームページ

・アドビシステムズ：<http://www.adobe.co.jp/>

12. 採否

採否は全国大会委員会にご一任下さい。

13. 問合せ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

(社)土木学会 全国大会係宛

TEL：03-3355-3442 / FAX：03-5379-0125

E-mail：office2@jsce.or.jp

原稿の書式(1ページ目)

